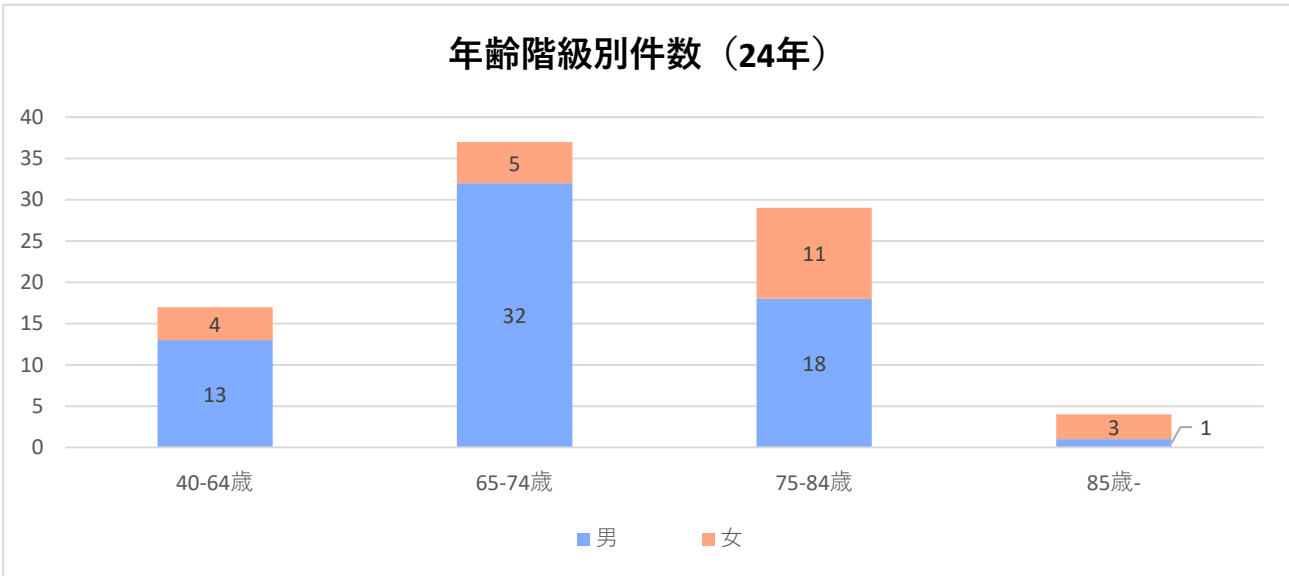
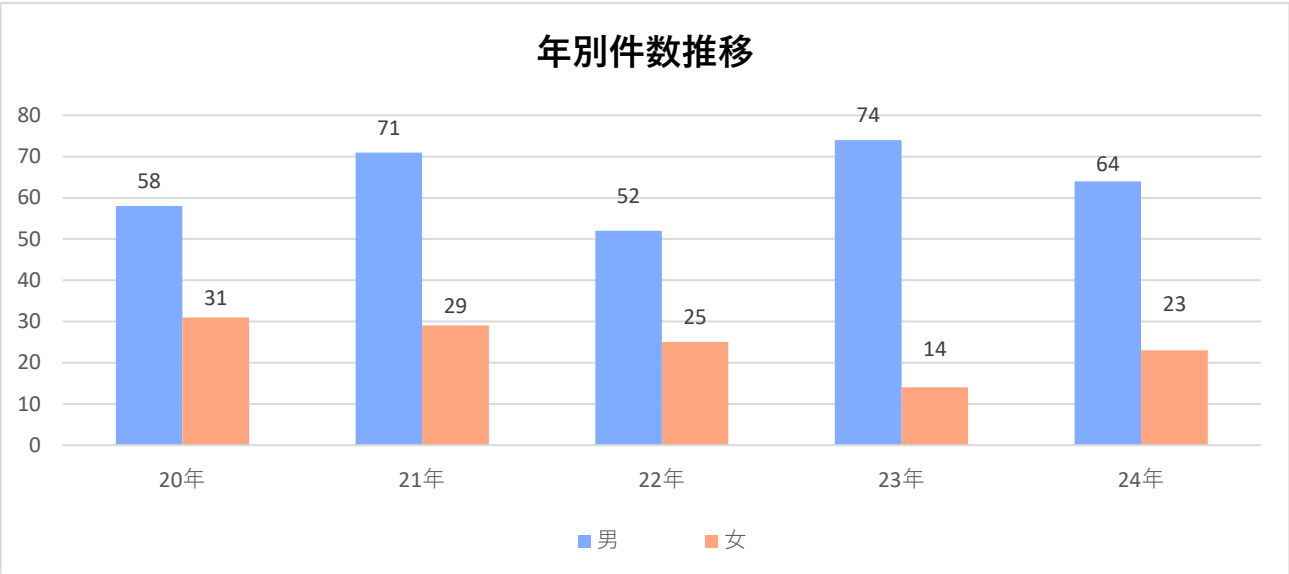


Ⅱ. 2024年集計＜部位別＞

5. 肝臓

肝臓に発生したがんを対象に、年別件数推移は直近5年間、年齢階級別件数は24年単年、主な紹介元先は直近5年間でグラフおよび表を作成した。
年別件数推移は男性が23年が最も多く、24年は減少している。女性は23年で減少したが、24年には増加している。
年齢階級別件数は65-74歳が最も多かった。



主な紹介元

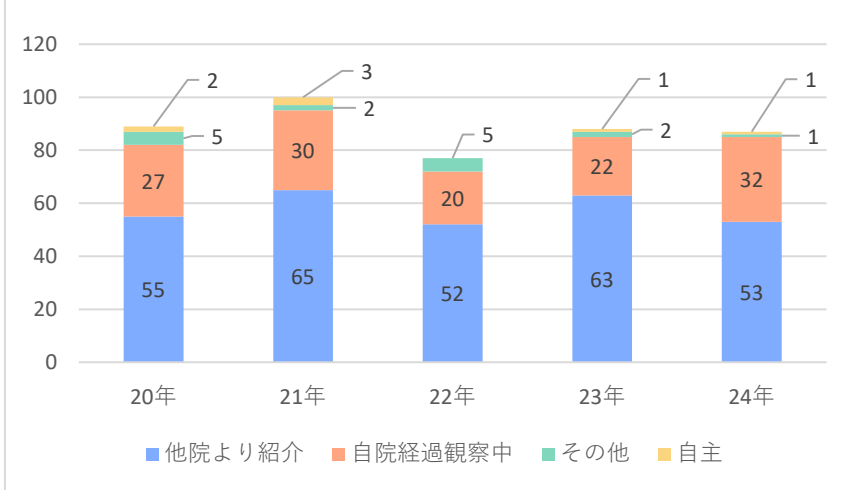
施設名	20年	21年	22年	23年	24年
石狩病院	0	1	1	1	3
函館五稜郭病院	0	0	1	3	3
上原内科クリニック	0	2	0	2	2
手稲山クリニック	2	1	0	3	2
石狩すずらん内科	1	0	0	0	2

主な紹介先

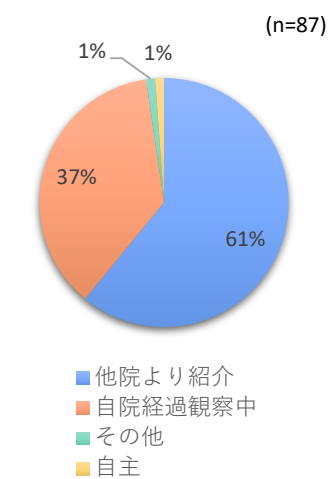
施設名	20年	21年	22年	23年	24年
倶知安厚生病院	4	1	0	2	1
岩内大浜医院	0	0	0	0	1
あいの里アットホームクリニック	0	0	1	0	1
池田内科クリニック	0	0	0	0	1
東札幌病院	1	0	1	0	1

来院経路・発見経緯・症例区分について、直近5年の件数と24年単年の割合でグラフを作成した。
来院経路は「他院より紹介」、発見経緯は「他疾患経過観察中」、症例区分は「自院診断・自院治療開始」が最も多かった。

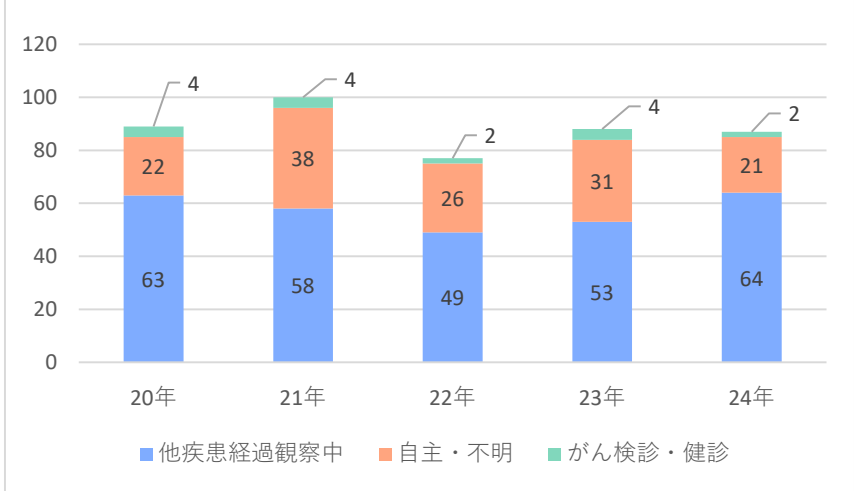
来院経路別件数



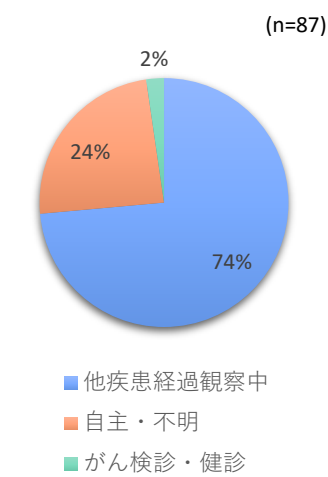
来院経路別割合（24年）



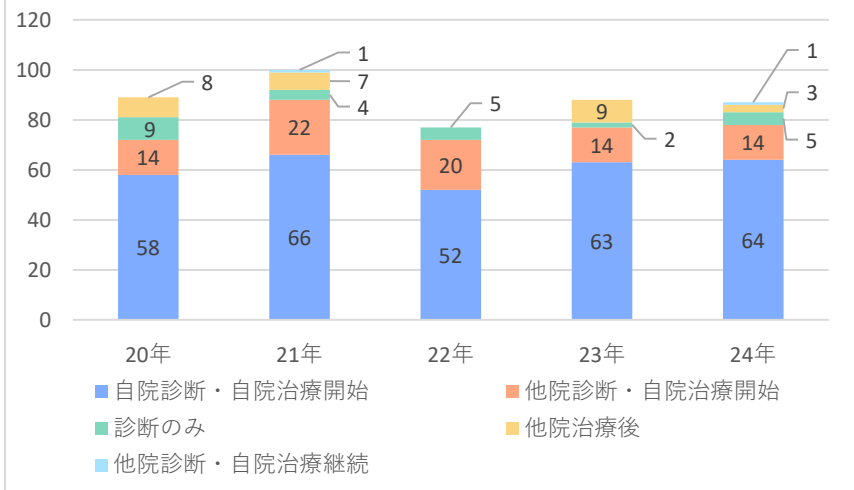
発見経緯別件数



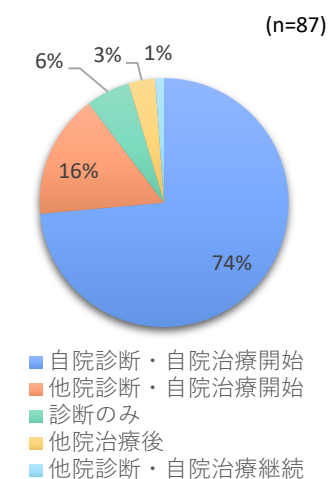
発見経緯別割合（24年）



症例区分別件数

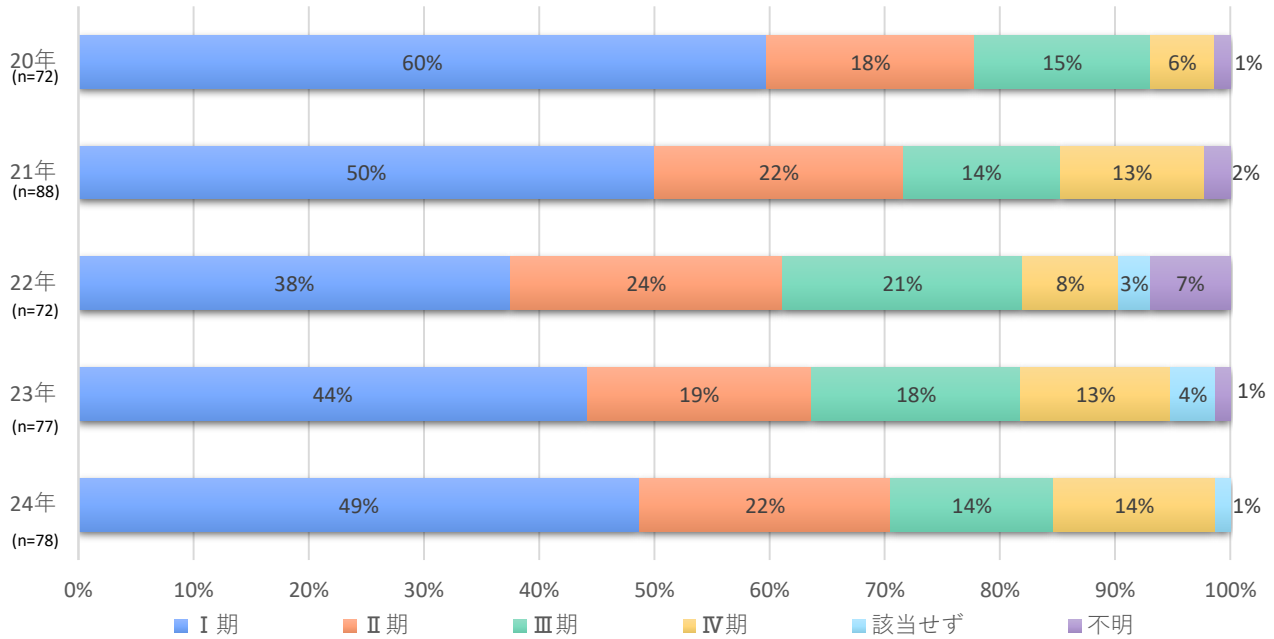


症例区分別割合（24年）

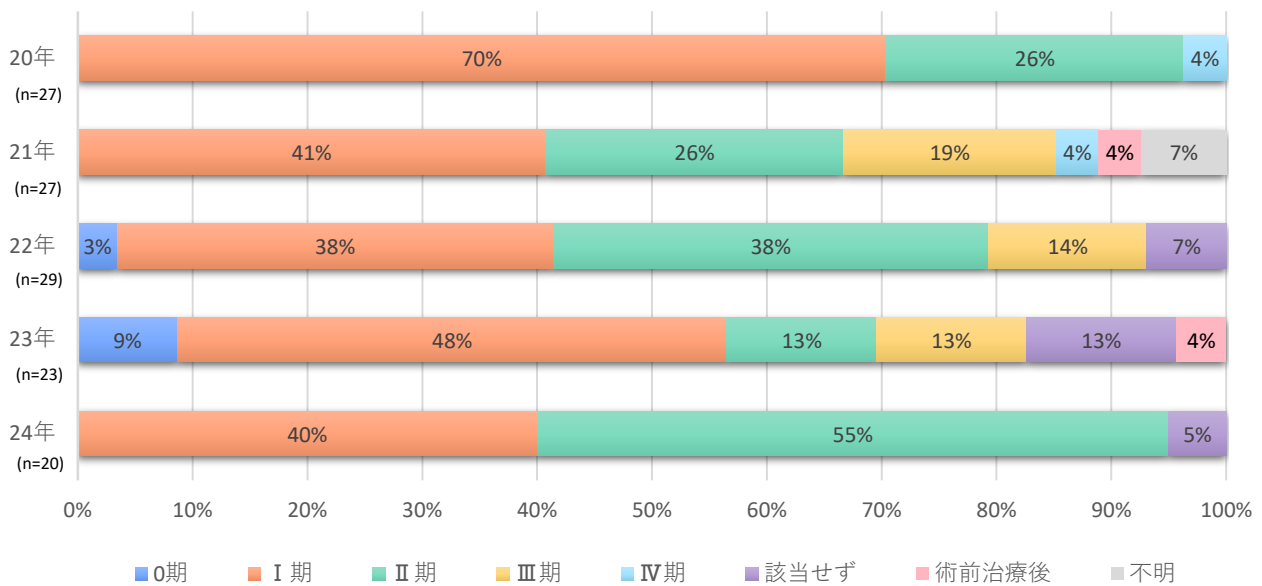


治療前・術後ステージ別割合について、直近5年間のデータでグラフを作成した。
 治療前ステージでは、全ての年で「Ⅰ期」が最も多く、また24年では「Ⅱ期」と「Ⅳ期」が増加していた。
 術後ステージでは、24年に「Ⅱ期」が増加していた。
 ※術前ステージ「0期」の該当症例はなかったため非表示となっている。
 ※「該当せず」には、組織型がUICC第8版に該当しない症例が含まれる。

治療前ステージ別割合



術後ステージ別割合(病理学的)



総合ステージ別に初回治療で実施した治療内容の割合について、24年単年で作成した。
Ⅰ期では「他の組合せ」が最も多く、ラジオ波焼灼療法や肝動脈塞栓術にて治療する症例が含まれる。
Ⅱ期では「手術のみ」が最も多く、Ⅲ期とⅣ期では「薬物療法のみ」が最も多く、40%以上を占めていた。
※「該当せず」には、組織型がUICC第8版に該当しない症例が含まれる。
※「治療なし」には、無症状や高齢である等の患者状態により、経過観察を選択する症例が該当する。

